

□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成 27 年 10 月 16 日 Ver.2

テーマ	ネパール・カトマンズで開催される国際研究会における準天頂衛星災危通報メッセージ機能を用いた災害警報デモンストレーション	
実証参加機関 (共同機関)	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 Workshop Organization of “Role of Land Professionals and SDI in Disaster Risk Reduction: in the Context of Post 2015 Nepal Earthquake”	
目的	災害発生時、通信インフラが未整備な地域、および、災害により通信インフラが使用不可能となった地域に対しても、防災情報を配信できるシステムは、被害の拡大防止に有効であると予想される。本実証では、ネパール・カトマンズにおいて準天頂衛星の災危通報メッセージ機能を用いた災害警報システムの有効性を評価する。	
期間	全体	2015 年 11 月 9 日、12 日、24 日 ~ 26 日
	時間・頻度	●国内テスト:11/9、11/12、現地実証:11/24~11/26 ●時間:別紙参照
実施場所	●地名:ネパール連邦民主共和国カトマンズ Hotel Radisson ●環境:市街地 ●その他:雨天でも実施	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	別紙参照	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	<p>●実証概要</p> <p>防災情報を表示させるアプリを Android 端末にインストールし、Bluetooth で接続した測位信号受信機で受信した災危通報メッセージにもとづく情報を表示させてデモを実施する。実際の災害警報配信を模した様子を再現し、準天頂衛星メッセージ機能による災害警報システムの説明をおこなう。</p> <p>●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デモと同時にメッセージデータ、周辺環境データを取得し、メッセージ受信の有無および受信状態を後日確認する。 <p>●確認時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証終了後に解析をおこなう。 	
受信信号	<p>●使用する測位信号名を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPS:L1C/A ・QZS:L1C/A、L1-SAIF 	
受信設備	<p>●使用する測位信号受信機などを記載</p> <p>■貸与品目/数(QZ1/4 台)</p> <p>□持込品目/数(/)</p>	
ソフトウェア	<p>●測位結果確認ソフトウェア</p> <p>■ソフトウェア名称/概要</p> <p>RedRescue アプリ/位置に応じた防災情報を受信するアプリケーション</p>	
実証前の要求事項		
実証時の要求事項		
実証後の要求事項		
その他		

別紙

■ 配信日時(日本時間)

11/9	14:00-19:00	(国内テスト)
11/12	10:00-15:00	(国内テスト)
11/24	12:00-20:00	(ネパール現地実証)
11/25	12:00-20:00	(ネパール現地実証)
11/26	16:00-20:00	(ネパール現地実証)

■ 実証システム構成

